

No.178
2018.3.20

響き

莊原コミュニティセンター報

莊原のうごき

平成30年2月28日現在

世帯数.....2,393戸

男性.....3,520人

女性.....3,739人

合計.....7,259人

発行／莊原コミュニティセンター

出雲市廻川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

1/24(水)

東部保育園
莊原幼稚園

2/7(水)

莊原保育園

味噌作り

自主企画事業

こども倶楽部



農業体験として、さつまいもと大豆の栽培を3園合同で行い、その集大成として大豆を使って「味噌作り」を行いました。3園合同で活動することで他の園との交流が深まり、地域の人たちと一緒に活動することで異世代の交流という目的が達成できました。また、子どもたちは、自分たちで育て収穫した大豆で味噌を作ること、食への関心を深めることもできました。



＜子どもたちの感想＞

- ・大豆が焼きそばやラーメンのようになって低くておいしくびっくりした
- ・みんながいっしょにみそづくりできてうれしかったよ
- ・みんなでこねこねしてのしかったです！きもちよかったです
- ・みそづくりをまわすのがたのしかった！へんだったけどおもしろかったよ
- ・おじちゃんやおばちゃんたちとお話して作るのが楽しかった
- ・畑の大豆が味噌になるのが、びっくりだった
- ・早くお味噌汁がたべたいな



ふれあい交流部

1/31
(水)

そば打ち体験講習

自主企画事業



日本の食文化のそば。そばを育てることも気候に気をとめながら丹精込めて作ります。

今回のそば打ち体験は神庭地区で作られたそば粉を使いました。参加者全員で捏ね、打ち、湯がき、試食をしました。打ちたてのそばの味は格別で、しばらくそば談議でもちきりでした。いつでも、どこでも簡単に食べ物が手に入る現在ではありますが、食の安全と手作りは何にも代え難い大切なものです。欧米の食べ物に目がうばわれる昨今ではありますが、日本食の良さと地元産の食材で食文化を伝えることを大切にに取り組んでいます。



そば粉に水まわしをしたところ



一塊にして伸ばすところ



全部完食しそば談議に夢中

1/23
(木)

料理講習会



「やまももの会」は毎年料理講習会を開催します。今年はマクロキッチン出雲(岡清木芸内)の岡里美さんに「からだにやさしい料理」ということでご指導いただきました。普段私たちは科学調味料をあまり意識をしないで使った食生活をしています。そして肉、砂糖を使わない日は少ないと思います。今回の料理はこれらを全く使わない料理でした。メニューは、ハトムギ茶飯、車麩のカツ、大根と雑穀のスープ、ラタトゥユ(大根、人参、牛蒡、レンコン、玉ねぎ、トマト等の煮込み)。味付けに使ったのは昆布椎茸だし、塩、少々味噌でしたが野菜

の持っている甘みと旨味を引き出すことで十分においしくいただきました。忘れかけていた物を思い出させる味でした。普段から濃い味付けにならないように心がけ工夫したいと思いました。

2/16
(金)

ミニ研修&古布裁断

環境福祉部

今年度の「ミニ研修」は、出雲市社協の職員さんに地域福祉の新しい方向性「地域支え合い活動」についてお話し頂きました。「高齢化」「単身化」の進む地域で、だれもができる限り安心して暮らすためには、住民同士で地域の福祉を支えていくことが重要であるというお話でした。特にこの研修では、「買い物」や「掃除」などの生活支援の支え合い活動について、助け合いゲーム体験などで学びました。

生活支援などの支え合い活動は、身近で取り組みやすいと思われるですが、現実には長続きする活動にするためには、いろいろ詰めていかなければならない事が多くあると思いました。「やまももの会」の今後の活動の中で考えていけたらと思います。

その後、賑やかに古布裁断をして、手作りのヘルシーメニューの昼食を食べ、歓談しました。出来たハギレやタオルは地区内の介護施設に届けます。



喫茶 おいでませ

- 日 時：毎月第2木曜日 午前10:00~12:00
- 場 所：荘原コミュニティセンターおいでませ館
- 喫茶代：200円(コーヒーorお茶、お菓子)

やまももの会より おしらせ

開催予定日

4月12日・5月10日・6月14日・7月12日・
9月13日・11月8日・12月13日・1月10日
2月14日・3月14日(8月・10月はお休み)



1/26
(金)

おいでませの会 新年会



「おいでませの会」では3班合同で出雲空港ホテルにて新年会を開催しました。アトラクションには「出西民謡同好会」のみなさんによる相撲甚句や民謡や踊りを披露していただきました。傘踊りをされた方が90歳と聞き、会員のみなさんも刺激され「まだまだこれからも頑張らんといけんね」と元気をもらいました。前々日の寒波により開催を心配しましたが、みなさん楽しみに出かけていただき楽しい会となりました。





「大雪の翌年に水害、来年は？」

「運う人の 皆大雪と 申しけり」、「いくた
びも 雪の深さを 尋ねけり」(正岡子規)。



庄原の雪の風景 (H30.2.8)

近年の大雪の記録をみると、昭和38年(1963)いわゆる「38豪雪」は9年周期に該当する大雪であったといわれる。最高積雪量は赤来町で430cmを記録。県内では大きな被害を受け、山間部では過疎化に拍車がかかった。宍道湖は凍結して、嫁が島へ歩いて渡れる様な状況であった。翌年は、「昭和39年7月豪雨」で、一昼夜の雨量は300mmを突破して、斐川町でも11名の犠牲者が出ました。そして、次には昭和48年2月3日から4日に掛けての大雪でした。一晩に60cmの降雪があり、山間部では150cmの積雪となりました。2月6日は庄原町内も町民総出で除雪作業となり、雪はダンブカーに積んで新井川へ捨てました。私も勤務先の出雲空港まで歩いて出勤しました。空港も除雪がままならず、運航再開は1週間後でした。今年の大雪でも、直江、平田から庄原まで歩いたという人や、また親

戚等に泊まったという人もありました。翌年には「昭和47年7月豪雨」となりました。7月11日の深夜に宍道湖堤防を越えて浸水し、庄原、出雲では甚大な被害がでました。この時も夜中に空港へ出かけ、当時は平屋の小さなターミナルビルでしたので、貴重品等を屋上への階段に上げるのが精一杯でした。翌日に様子を见に行ったら、事務所は机の高さまで浸水していました。運航再開は約2週間後の7月24日になりました。

今年の大雪は節分よりちよつと遅れた、「節分荒れ」となりました。「まーじ荒れましたね。雪でくたびましたわ」が当分の挨拶でした。8日朝の積雪は約50cmもあり、また平昌オリンピックが開幕した9日は寒気に加え、放射冷却が進んだため、厳しい冷え込みとなりました。斐川町の最低気温はマイナス12.5℃となり、観測史上最低を記録しました。各所で水道管の破裂があり、防災無線で斐川宍道水道企業団から低温に注意とか節水をお願いが、日に何度も放送されていました。数日間には駐車場から車が動かさなくて、買い物はリュックでという人も多くいました。庄原コミセンでは、9日早朝よりセンター長がグレーダーを運転して、駐車場の除雪作業に頑張っておられました。庄原町のグレーダーによる除雪は11日午後でした。2月14日には春一番が吹き、フキノトウも大きくなってきました。春遠からじでしょう。「もうすぐ春ですね、ちよつと気取ってみませんか」(1976年キャンドリーズ)。今年の桜の開花はいつごろでしょうか。一首「世の中に たえて桜の なかりせば 春の心は のどけからまし」(在原業平)。過去大雪の翌年に水害がありました、ないように願って、また災害にも備えましょう。

(総務部 渡部和夫)

3/6
(ウ)

専門部、運営委員会、庄原地区自治協会 合同研修

備中宇治彩りの山里～宇治世代の取り組み～をまちづくりの研修先を選び、庄原コミセン運営委員会、専門部委員会、庄原地区自治協会が合同研修をしてきました。

庄原地区は空港、JR、高速道路があり恵まれた環境にありますが、この宇治地区は山間の高齢化率54%の少子高齢化で人口が減少している地域です。地域の幸せ豊かさを分かち合う笑顔で集う宇治の将来に向けて「つながる方向に舵を切る！そのために総動で！」、地域をよくしたい衝動はプロセス、もっとより良い地域にしよう、と取り組まれている姿に見習うところがたくさんありました。私たちの町をみんなが住んでよかった、子どもたちが誇りに思える暮らしやすい町にしたいという思いを持って帰途につきました。

「元気な斐川を創る会」でもいろいろな世代が活性化に向けて話し合いや事業を行っています。ぜひ、地域の皆様にも参画していただいて、みんなで「自分事」になれる地域であって欲しいと強く感じました。



2/2
(金)

薔薇剪定&土づくり 元気な斐川を創る会

この時期のバラの剪定と土づくりが花が一年中きれいに咲く重要なポイントです。福島博講師の指導の下、ハサミで剪定をしました。この日は気持ちの良い天気でバラがきれいに咲いてくれるようお願いを込めて頑張りました。

バラにもある重要な性質とは“枝の先ほど栄養を多く吸収して、元気よくのびる”。膝について座り、目平で切ると、ちょうど良い位置に花が咲くそうです。みなさんも是非ためしてみてください。

また、3月5日に寒肥のやり方の講習会もしました。



3/3
(土)

荘原放課後こどもクッキング



★3月こどもクッキングメニュー★
・オムライス
・野菜スープ
・りんごとしらすのサラダ
・ちなれチーズ



6月からはじまったこどもクッキングに、今年度もたくさん子どもたちが参加して、3月3日に最終日を迎えました。みんなで協力し合いながら楽しそうにたくさんの料理やデザートをつくり、12月にはプロのシェフを講師に迎えたりして、料理の腕をあげました。

子どもたちの感想（抜粋）

「1年間とても楽しかったです」私は、針を一人で作れるようになったり、レシピを見たらすぐに作れるようになりました。1年生では、人数が多すぎてうまくできませんでした。1年間ありがとうございました。

自分たちで作った料理はすごくおいしくて、いつも食べているより10倍にがんばりました。

私は1年間こどもクッキングをやってすごくみんなと仲良くなったし、いっしょに作ったりしてすごく楽しかったです。私はあまり料理が得意じゃないから、あまり上手にできなかったけど、楽しくやれたのがよかったと思います。特に、デザートを作る時は楽しかったです。サラダとかスープは火を焚いたりしてちょっと怖かったけど、デザートはあまり火を使わないから上手にできました。みんなが「おいしい」と言われると私も気持ちがうれしくなるから、特に、デザートを作る時はうれしかったです。なので、また来年度もやりたいと思います。

おもしろいよう理ができたし、家でおいしいよう理が作れるようになってうれしかったです。

荘原コミュニティセンターより お知らせ Information

問い合わせ ☎72-4600

「荘原はつらつ体操教室」会員募集！

健康スポーツ部 <自主企画事業>

「よくつまずく・転ぶ」「家ではほとんど動かない」など加齢に伴う悩みを持つ高齢者さんも少なくありません。高齢者になって心身共に元気で充実した日々を過ごすために体操をしたり人と交流することはとても大切です。「少し歩行がしにくくなった」などの高齢者対象の軽度の体操教室です。参加者を募集しますので気軽にお問合せください。

○日 時：毎月第1・3水曜日(変更することもあります)

午前10時～11時30分まで

○場 所：荘原コミュニティセンター 集会室

○参加費：年会費 2,000円(年会費)

○持ち物：上履き(室内シューズ)・飲み物・タオル



ヨガ教室会員募集！

忙しい日々の生活から少し離れてココロとカラダを解きほぐしてみませんか！初心者の方でも大丈夫なゆったりヨガです。参加をお待ちしています。

○日 時：第1・3(木) 13:30～(集会室)

○参加費：月1,000円

○持ち物：飲み物 バスタオル1枚 フェイスタオル2枚



平成30年度荘原コミュニティセンター 団体育成補助金のご案内

～荘原地区の元気な団体を応援します！～

○対 象：地域の事業及び活動を行う荘原地区の団体、グループ(営利を目的としない)を募集します。

○目 的：各団体グループ育成支援により、地域の活性化につなげる

○助成額：1団体につき2万円程度(5団体)

○締 切：4月6日(金)

ご寄付御礼
香典返し 金一封
原 幸市 様(綿田原自治会)
酒井 幸子 様(新生本町自治会)
匿名による金一封 一名 様
皆様からのお寄せいただきましたお志は、荘原地区社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。